

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	20
事業名	東員町・大台町子ども交流事業	会計	款	項	目
		一般	10	5	3
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-1-5	青少年の健全育成			
主要施策	①青少年の活動促進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内在住の小学生（高学年）	目的（対象がどのような状態になっているか）	夏休み期間中に、大台町を訪れ、地元の小学生と交流を図りながら、子どもたち自らが、体験したり挑戦したりする中で「生きる力」を身に付けていくことを支援する。
事業内容	大杉谷自然学校で1泊2日の自然体験学習を行い、子どもたちが自主的に活動する力を身につけることができるようにサポートする。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
指標	1	参加者数	29	30	29	人	→	30
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					771	858	913	
財源内訳	直接事業費A				507	594	649	
	うち一般財源				507	594	649	
人件費（千円）B					264	264	264	
内訳	一般職員（人・千円）		0.04	264	0.04	264	0.04	264
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	引き続き事業を実施していく。	③取組の課題	子どもたちの登校日等を考慮しながらの日程調整についての課題がある。
②R1年度に実施した取り組み	8月19.20日の2日間に渡り、事業を実施した。	④今後の改善計画	子どもたちの登校日等を考慮しながらの日程調整を行う。